

事業名	中小企業集団指導助成費		
細事業名	活力ある職場づくり推進事業費	財務コード	105602
担当部課室	産業労働 部 労政雇用 課 労政 担当 (内線)	4807	

調査番号	78
------	----

I 事業の概要

実施期間	始期 S52 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	県(委託)		
目的	だれ(何)を対象に 中小企業事業主	その対象をどのような状態にして 活力ある職場づくり推進大会を通じて、中小企業における労務管理改善の必要性を認識させ、労務改善に向けた取り組みが行われる。	結果、何に結びつけるのか 勤労者にとって働きがいと生きがいを感じることのできる活力ある職場づくりが進められている。
	内容 活力ある職場づくり推進運動山梨県大会の開催(平成29年11月24日) 参加者 49名 中小企業労務改善協議会優良団体等知事表彰 団体表彰・個人表彰・企業表彰		

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
活動指標	団体表彰数	1団体・4名・1企業						
	個人表彰数	3名	1団体・5名	4名	11名	4名	1団体・4名・1企業	
	企業表彰数	—	—	—	—	—	—	
	達成区分	—	—	—	—	—	—	
成果指標	目標	—	277	292	307	322	337	352
	実績(見込)	276	277	222	291	327	337	
	達成率	—	—	76.0	94.8	101.6	100.0	
	達成区分	—	—	c	b	b	b	
決算(予算) 単位:千円		100	103	103	103	103	103	105

III 事業の評価(平成29年度の業績評価)

活動指標	b	評価	大会を通じて県内中小企業事業主の労務管理改善の気運醸成につながった。
成果指標	b		一般事業主行動計画を策定し、労務環境の改善に取り組む企業が増加した。

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。  
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(平成31年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input checked="" type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (下記のとおり)
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	中小企業事業主の労務改善の気運が醸成され、労働者にとって働きやすい職場づくりに繋がる。
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他 (下記のとおり)
その他	説明	H24・H27年度に実施要領等の見直しを行い表彰者(団体)の基準を緩和した。表彰対象者数の増加に伴い、中小企業主の労務改善の気運が醸成され、働きやすい職場環境づくりに繋がっている。
見直しの必要性	無	H24・H27年度に実施要領等の見直しを行い表彰者(団体)の基準を緩和した。表彰対象者数の増加に伴い、中小企業主の労務改善の気運が醸成され、働きやすい職場環境づくりに繋がっている。

V 見直しの方向(平成31年度当初予算等での対応状況)

現行どおり	説明	
-------	----	--

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。